

制度改正により、男性の育児休業が取りやすくなりました。

夫婦で取得すると、
1歳2か月まで
休業できます。

妻の産休中に夫が
休業した場合、夫は
2度目も取得できます。

配偶者が
専業主婦(夫)でも
休業できます。

取得例			
出生	8週間	1歳	1歳2か月
母 産休	母 育児休業		父 育児休業
職場復帰直後の特に大変な時期に父母が協力して子育てができるようになります!			

制度の詳細は「イクメンプロジェクト」サイト内で紹介しています。

「イクメンプロジェクト」ホームページ

- 「イクメン宣言」(個人)、「イクメンサポーター宣言」(個人・団体)などの参加型プロジェクトにより、社会的気運を醸成していきます。
- 「イクメン宣言」をした方の中から、「イクメンの星」を選定し、ホームページ上でご紹介します。
- その他、企業の取り組み事例ご紹介や、育児休業制度の解説、イクメンプロジェクトチャンネル、メールマガジンなど、イクメン&サポーターのためのお役立ち情報が満載です。

イクメン宣言しよう!

働くお父さんの子育てに役立つ情報も掲載! イクメンプロジェクトサイト
ikumen-project.jp

事業主の皆様へ

子育て支援やワーク・ライフ・バランスの実現は、福利厚生という面だけでなく、経営戦略の重要な位置づけで考える時代です。社員が働きながら安心して子育てができる職場環境の整備を進めましょう。



推進チームメンバー

- 安藤哲也氏 (座長)
(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事)
- 小室淑恵氏
(株)ワーク・ライフバランス代表取締役社長
- 山田正人氏
(「経産省の山田課長補佐、ただいま育休中」著者)
- おちまさと氏 (プロデューサー)
- 渥美由喜氏 ((株) 東レ経営研究所研究部長)
- 駒崎弘樹氏 (NPO 法人フローレンス代表)
- 佐藤博樹氏 (東京大学教授)



子育てを楽しみ、ママの人生を支えるために。
 自分の働き方を見直し、進化させていく。
 時間管理能力や段取り力を高め、成長していく。
 いま、そんなイクメンたちが増えています。
 家族のきずなを深める生き方が、働き方もプラスに変える。
 あしたの日本に、社会を動かすイクメンのチカラを。

育てる男の働き方、生き方が、社会を動かす時代です。
社会に、イクメンのチカラを。



育てる男が、家族を変える。社会が動く。



育児を楽しむ男たちが社会へ発信! イクメンプロジェクト

育てる男が、家族を変える。社会が動く。



「育」を象徴的にデザインしたロゴマーク

ロゴマークでは、子育てする父親が家族のあり方を変え、自分自身も成長し、やがて社会の成長にもつながっていくというプロジェクトの意義を、「育」の漢字で象徴的に表現しています。このロゴマークに「育てる男が、家族を変える。社会が動く。」というスローガンを掲げ、プロジェクトの使命を伝えていきます。

イクメンプロジェクト

イクメンとは子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと。イクメンがもっと多くなれば、妻である女性の生き方が、子どもたちの可能性が、家族のあり方が大きく変わっていくはず。そして社会全体も、もっと豊かに成長していくはず。イクメンプロジェクトは、そんなビジョンを掲げて発足しました。

イクメンプロジェクトはイクメンの皆さんはもちろん、ご家族、企業、地域の皆さんなどのサポーターとともに育てていく、一大ムーブメントです。家族のあり方を、社会を大きく動かしていくプロジェクトに、あなたも参加してみませんか?

プロジェクトの背景

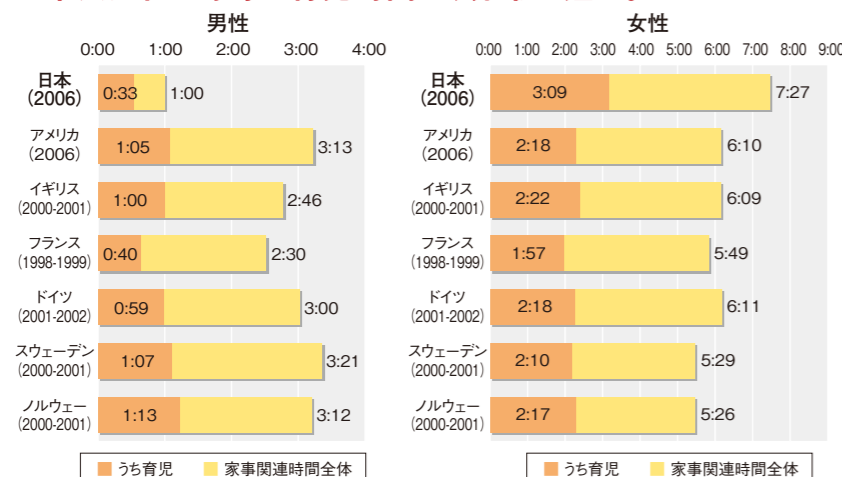
多くの男性は、育児に意欲を持っています。

現在、約3割の男性が「育児休業を取得したい」と希望している一方で、実際の取得率は2.63%にとどまっています。また、日本の男性が家事・育児をする時間は他の先進国と比べて極めて低い水準となっており、そのことが子どもをもつことや妻の就業継続に対して悪影響を及ぼしています。厚生労働省では、男性の育児休業取得率を現状の2.63%から2017年度には10%に、2020年度には13%に上げることを目標に掲げ、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)の実現に取り組んでいます。

日本男性の育児の実態

■父親の家事・育児関連時間

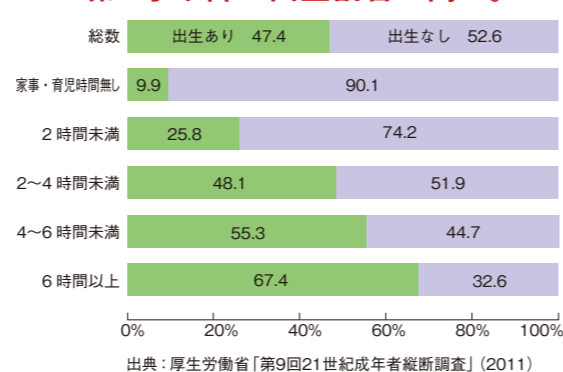
日本人男性の家事・育児時間は、非常に短い。



出典: Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. "America Time-Use Survey Summary" (2006)、総務省「社会生活基本調査」(平成18年)

■子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の第2子以降の出生の状況

夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高い。



出典: 厚生労働省「第9回21世紀成年者縦断調査」(2011)
注: 1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前アーク」が得られていない夫婦は除く。
①第1回調査から第9回調査まで双方から回答を得られている夫婦
②第1回調査時に独身で第7回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方から回答を得られている夫婦
③出生前調査時に子ども1人以上ありの夫婦
2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の状況である。
3) 8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
4) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。



プロジェクトの内容

サイトを情報発信の起点として、さまざまな活動を展開

イクメンプロジェクトでは本サイトを情報発信の起点とし、イクメンとイクメンサポーターのプロジェクト参加を推進していきます。趣旨にご賛同いただける個人の方、企業、自治体等団体の方の参加をお待ちしています。

イクメン宣言 / 企業事例紹介

全国のお父さん! 育児を楽しみましょう!



岡山県 30代 3児の父

大変だけど楽しい育児。
妻ばかりに任せておくのはもったいない!!
育児を通じてパパも成長します。



東京都 30代 1児の父

毎日の出勤時に「パパ〜!」っと
離れ離れになるのを嫌がり、
泣きながら抱き着かれ続けられるほどの
パパっ子に育ててみせる♪
ママには負けん!



青森県 30代 1児の父

株式会社ベネッセコーポレーション

株式会社ベネッセコーポレーションでは、「社員の仕事と生活との調和が図られることにより、貴重な労働力の継続的な確保とパフォーマンスの維持向上」を基本的な考え方に、男女区別なく、育児・介護の両立支援策や、スーパーフレックス制度・在宅勤務制度等の時間や場所の柔軟性を高める施策を推進しています。

